

平成28年度 12月定例会会議録

◎招集年月日 平成28年12月20日(火)

◎開催日時 平成28年12月26日(月) 午後1時30分～午後3時13分

◎場 所 伊那市役所 第1委員会室

◎出席委員 松田教育委員長、宮脇職務代理者、田畑教育委員

◎欠席委員 原田教育委員

◎出席職員 北原教育長、大住教育次長、北野学校教育課長、小松生涯学習課長、捧文化振興課長、宮下スポーツ振興課長、中村指導主事、唐木指導主事、山崎教育総務係長

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 委員のひと言

- ・資料に基づき田畑委員より発表
- ・委員長より、先達の言葉に、便利な生活を追求した文明の進歩には必ず裏が生じ、それが人間を野蛮にしていくというものがある。委員の発表にもあったように、結果的に人間の職業を奪うという哲学的な危険性をはらんでおり、人間の将来にとって有益なのかについて十分吟味し進めてほしい。本来の人間の生活が失われては困るとの感想が述べられた。

4 会議事項

第1 教育長報告

- ・資料に基づき教育長説明
- ・委員長より、学力向上授業改善研究会では、グループ討議を通じ、最初、硬かった雰囲気から次第に笑い声やつぶやきが出てきて、良い授業を通じ人間関係が形成されていくことを感じた。一問一答形式の固い授業ではできないことを、参加した先生方が感じ取ってくればありがたいとの感想が述べられた。
- ・また、みぶの里の春の高校伊那駅伝記念碑除幕式では、西村所長から「ここを中継点にしてもらい大変良かった。若い選手が滑走して来るので、それを見て入所者の皆さんが元気をもらおう。非常にいいことだ。」との言葉をもらい、3月の大会が楽しみであるとの発言があった。

第2 報告事項

(1) 市議会12月定例会一般質問から

- ・資料に基づき教育次長説明

- ・委員長職務代理者から、野口議員の児童の貧困により健康が損なわれていないかとの質問に関連して、受診中の歯科医から「学校の検診で、要治療の判定をしたにもかかわらず、次回検診で治療していない子がいる。また、全般に虫歯がほとんどなくなっている中、たくさん虫歯のある子があり、家庭に原因がある。」と聞いた。貧困が原因かは特定できないが、ネグレクトなど重篤なケースがあるかもしれないため、そうしたケースを発見できる情報収集システムを作っていく必要があるとの発言があり、学校教育課長より、受診勧奨は、養護教諭がよりこまめにやっていく必要がある。ネグレクトに関しては、要保護対策協議会の対応につながってることがあり、歯科医師の代表も協議会に入って情報提供してもらっており、子ども相談室に連絡されるシステムが構築されているとの説明があった。
- ・教育長より、養護教諭が受診勧奨の確認をして繰り返し指導はするが、特別なケースでは、システムを変えた指導を行っているとの説明があった。
- ・委員長から、小中学生の医療費の無償制度について質問があり、教育長より、医療費は無料だが、自己負担分は窓口で一旦支払う必要があり、後日、伊那市から補てんされるとの説明があった。
- ・委員長から、例えば、要保護家庭や準要保護家庭の場合、自己負担をなくすなどの改善ができないか質問があり、教育次長より、全国の都道府県の中で、先払いシステムを取っている自治体は数県であり、長野県は一旦窓口で払ってもらったうえで返すシステムを取っている。県と連動した保険システムを運用している関係から、長野県にそうした動きがないと、市町村だけでは対応できないとの説明があった。
- ・委員長から、唐澤議員の全国学力・学習状況調査についての質問に関し、県内の市で結果を数値などで公表する流れが出てきており心配している。文科省では一覧の公表は序列化につながるとして禁止しているが、複数の自治体が個別に発表すれば結果的に一覧になり序列化につながってしまう。上伊那の中でも首長から公開したいという発言があり、今後、そうした流れが強くなることが懸念されるが、伊那市は数値での公表は行わないとすることを守っていききたい。更に、数値ではなく文言で結果の公表をしていることを知られていない現状があり、きちんとした情報提供に努めていききたいとの発言があった。

(2) 教育委員と社会教育委員との懇談会の開催について

- ・資料に基づき生涯学習課長説明
- ・委員長から、講義の内容に関して質問があり、生涯学習課長より、生涯学習と学校をつなぐものとして信州型コミュニティ・スクールの制度を中心に講義依頼しているとの説明があった。
- ・委員長から、伊那市は信州型コミュニティ・スクールの取り組みで、食育事業「暮らしのなかの食」に地域の農業者から協力を得ており、また、「子どもが集う公民館」をテーマに公民館活動にも力を入れているので、公民館活動についても触れてもらえればよいのではないかと発言があった。
- ・委員長から、社会教育委員は、公民館活動で夏休みの「おいで塾」に力を入れて

やっていることを承知しているか質問があり、生涯学習課長より、4月の委員改選により、多くの委員が入れ替えとなり10人中7人が女性となった。過日開催の第3回社会教育委員会では、事業へ参加した報告をそれぞれ発表してもらい、報告総数が50余あった。その中には夏休み中の行事で公民館を訪れたものもあり、発表できるとの説明があった。

- ・信州型コミュニティ・スクール、子どもが集う公民館の2点をテーマに講義依頼すること、懇談の進行は松田教育委員長が行うことで調整された。

(3) 伊澤修二記念音楽祭30周年記念講演&ミニコンサートの開催について

(4) 人権同和教育講座の開催について

(5) 長谷地区成人式(1月1日)について

(6) 高遠町地区成人式(1月2日)について

- ・資料に基づき生涯学習課長説明
- ・委員長から、高遠町の成人式での昼食会について質問があり、生涯学習課長より、参加者は新成人と恩師のみで会費制で行っており、事務局、公民館職員は参加していないとの説明があった。
- ・委員長から、長谷地区の成人式では、昼食会などの設営がないため、新成人は式が終わると帰ってしまい素っ気ない。式典には地区の代表などが来ているので、食事を摂りながら懇談すれば、更に地域への帰属意識が醸成されるのではないかと。あまり簡素化するのもどうかという気がする。話をしてみしてほしいとの発言があり、生涯学習課長より、以前は、長谷地区でも式後仙流荘に行ったと聞いており、聞いてみるとの説明があった。
- ・委員長から、他地区で懇親を行っているところはあるか質問があり、教育長より手良地区では仕出しを取って懇親会をやっており、会場の移動をしないで行うことも可能であるとの説明があった。
- ・委員長から、人権教育での企画では、前回、書家の金澤さんから大変良い講演をいただいた。是非大勢の人に参加していただけるよう呼びかけてほしい。また、伊澤修二記念音楽祭30周年記念事業記念講演&ミニコンサートは、教育会で研究している方に発表の機会を与えていただくことで、更に研究が充実することが期待される良い企画であるとの発言があり、生涯学習課長より、講演を行う先生方も大変やる気に取り組んでいるとの説明があった。

(7) 共催・後援について

- ・資料に基づき学校教育課長説明
- ・委員長から、伊那中学校の公開授業について申請がないか質問があり、学校教育課長より、現在のところないので声をかけてみるとの説明があった。

5 その他(教育次長)

(1) 1月の日程について

(2) 2月の主な日程について

- ・ 2月定例会 2月23日(木) 午後1時30分 伊那公民館
 公民館長との懇談 同日 午後3時30分 〃

6 閉 会

- ・ 委員長から、今年は小学校教諭による不祥事が2件起こり残念だったが、当該校の教職員は前を向きしっかり頑張ってくれてありがたかった。また、「暮らしのなかの食」、ICT教育についても充実した取り組みをしていただき感謝している。来年はいい年になってほしいとの発言があった。